

2 最近3年間の主な活動

※「1 応募者概要」の「環境に関する主な活動内容」について、最近3年間の主な活動内容を記入してください。

	活動・取組・イベント等の 名称 発行した印刷物等の名称	参加人 数、発行 部数等	詳細内容
令和 元 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・早渕川ファンクラブ定期美化活動の実施 ・早渕川全域の自転車での巡回、清掃活動 ・はあと DE ボランティアの受け入れ。(2回) ・子育て地蔵まつりでの出展 	<ul style="list-style-type: none"> 各回平均5名 1名 各回平均35名 60名 	<p>毎月第二、第四日曜日の 10:00～11:30 早渕川親水広場にて活動</p> <p>毎週末「朝活 星くず拾い」と称して、早渕川全域を自転車で巡回するとともに、ゴミ拾いの実施</p> <p>つづき MY プラザが主催する小中高生向けのボランティア体験「はあと DE ボランティア」の受け入れ 美化活動及び、青空教室（早渕川の歴史や特徴、早渕川に生息する生き物の生態、ゴミ問題の勉強会）の開催</p> <p>川の生き物を捕まえ、一時的に水槽に移して自然観察してもらう</p>
令和 2 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・早渕川ファンクラブ定期美化活動の実施 ・早渕川全域の自転車での巡回、清掃活動 	<ul style="list-style-type: none"> 各回平均10名 2名 	<p>毎月第二、第四日曜日の 10:00～11:30 早渕川親水広場にて活動</p> <p>毎週末「朝活 星くず拾い」と称して、早渕川全域を自転車で巡回するとともに、ゴミ拾いの実施</p>
令和 3 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・早渕川ファンクラブ定期美化活動の実施 ・早渕川全域の自転車での巡回、清掃活動 ・横浜国際プールでの PR ブースに出展 ・廃材等を活用した、子供向け図画工作の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各回平均15名 3名 50名 5名 	<p>毎月第二、第四日曜日の 10:00～11:30 早渕川親水広場にて活動</p> <p>毎週末「朝活 星くず拾い」と称して、早渕川全域を自転車で巡回するとともに、ゴミ拾いの実施</p> <p>横浜ビー・コルセアーズのスポンサー企業である、株式会社エリアプロジェクトからの協力をいただき、日本バスケットボールリーグ、横浜ビー・コルセアーズの試合会場（横浜国際プール）にて早渕川ファンクラブの PR 活動を実施</p> <p>毎月の定期美化活動に参加していただいた子供を対象に、早渕川で回収したゴミや、ゴミとして廃棄される予定の廃材などを家庭から回収し、子供向けの図画工作を実施 ※制作物については別添資料1の写真参照</p>

・小学校3年生を対象とした出張授業の開催	30名	勝田小学校3年生の生徒30名を対象に早渕川でのフィールドワーク及び生き物の生態、ゴミ問題について一緒に考える出張授業の開催
----------------------	-----	---

- ※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中の場合には、「詳細内容」の部分にその旨を御記入ください。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり	近隣の町内会や、ボランティア団体との連携	「中川中央町内会」及び「つづきSDGsかあちゃんズ」と連絡を取り合い、センター北駅からセンター南駅間の街全体の美化を目指している
学校との関わり	区内の小中高生や教育施設のこども受け入れ。	区内の小中高生や大学生、幼稚園などの教育施設のこどもと一緒に早渕川親水広場の美化清掃活動の実施及び青空教室（海のゴミの出どころや原因を知っていただくためのワークショップ）の開催（日々輝学園高等学校、勝田小学校、もあなキッズ自然楽校など）
他の市民団体との関わり	戸塚区の柏尾川ファンクラブとの連携 イトゥアーノFC（横浜社会人サッカーチーム）とのコラボ	<ul style="list-style-type: none"> ・柏尾川ファンクラブの発足に貢献 ・互いに連携し合い、環境保全に取り組んでいる ・イトゥアーノFC横浜（社会人サッカーチーム）の選手によるゴミ拾い活動のご協力及び交流 ・早渕川ファンクラブメンバーによる、イトゥアーノFC横浜応援活動 ・早渕川ファンクラブのゼッケン制作費のご提供
企業等との関わり	株式会社エリアプロジェクトとのコラボ	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜ビー・コルセアーズのスポンサー企業である、株式会社エリアプロジェクトからの協力をいただき、日本バスケットボールリーグ、横浜ビー・コルセアーズの試合会場（横浜国際プール）にて早渕川ファンクラブのPRブースに出展 ・早渕川ファンクラブのゼッケン制作費をご支援いただく
行政との関わり	望月高徳市議会議員 すとうたかのぶ県議会議員 都筑区役所職員	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動への参加 ・横浜市のごみ出しパンフレットの改善（強風による飛散防止対策の項目を追加） ・清掃活動への参加 ・神奈川県土整備局、横浜川崎河川事務所と繋いでいただく ・清掃活動への参加 ・清掃活動で出たゴミの回収処理（資源循環局と調整及びゴミ収集車、収集員によるゴミ回収） ・都筑区のごみ袋の無償提供 ・産業廃棄物業者への指導

	横浜川崎河川事務所 神奈川県土整備局	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の回収 ・長靴、草刈り機、倉庫などの物品提供 ・イベントで使用するライフジャケットの無償貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・県庁舎にて会合 県職員と早渕川ファンクラブにて、将来に向けた協調や連携の相談を実施
その他、 環境以外 の分野と の関わり	NPO 法人 H&K (第 28 回横浜環境活動賞 市民の部 実践賞受 賞) 主催の農作物収穫 体験への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人 H&K 主催の農作物収穫体験の参加 ・NPO 法人 H&K 理事長の石田様は当団体の立ち上げ当初から名誉顧問にご就任

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

1994年に住民の呼びかけで「よみがえれ早渕川！」というフォーラムが開催されました。60人以上の市民が集まり、当時建設省で多自然川づくりに携わってこられた関正和氏の講演を聞きました。河川整備は治水整備のためだけでなく環境にも配慮し、市民参加が大切だという内容でした。そこで市民有志が同年7月24日に「早渕川をかなでる会」を発足させました。川の活動は「水と緑と太陽」の3要素からなると考え、「水」「緑」「太陽」の3つのグループに分かれて活発に活動していきました。2002年6月には、活動のしやすさを重視し、3分割していたグループを「太陽グループ」に集約し、会の名称を「早渕川をかなでる会」から「早渕川ファンクラブ」に改めました。ここでいう「太陽」とは歴史と文化の意味です。

5 今までの活動

【活動の目標・ねらいに対する成果】

美化清掃活動の継続により、早渕川の景観維持、カワセミをはじめとする水鳥などの生き物も多く見られるようになってきた。付近住民の方から「昔より綺麗になった」「生き物が戻ってきた」などと、感謝のお言葉が寄せられている。

また、2019年に代表が坂口に変わり世代交代するとともに、SNSによる発信やゴミ問題の根本原因、カワセミなど川に生息する生き物の情報を発信し始めたことで、共感してくださる参加者、特に若年層が急増しつつある。

また、地元の方だけでなく、遠方からの参加者も増えている。

市民、行政、企業とのコミュニティが強くなり、活動の幅が広がっている。

【ゴミの回収実績量】

2020年度実績・・・45ℓ 240袋

2021年度実績・・・45ℓ 450超袋（11月14日現在）

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

早淵川親水広場ができた当初は、チョウの多様性が、早淵川全域のチョウの多様性と比較すると、少し劣るとのことで、多様性を取り戻すため、早淵川親水広場にビオトープやアゲハチョウが好むみかんの木などを植えました。そのお陰さまもあり、2019年秋ごろには、チョウだけでなく、トンボが乱舞する圧巻の光景となりました。

ところが、2019年の台風19号のときの多摩川氾濫の後、1級河川である早淵川は大した被害もなかったにも関わらず、多摩川水系と同じように、国土強靱化計画に入れられ、間もなく、ほぼ全域で大工事が行われました。この大工事は、木をすべて伐採して徐根し、ブルドーザーで土砂をどけて積み直すという、動植物から観ると大変荒っぽい工事でした。案の定2020年の秋には、早淵川親水広場のトンボは壊滅的な被害を受け、ほぼ全滅してしまいました。この事象を受けて、早淵川ファンクラブから、河川事務所に対して、自然が受けたダメージを代弁しつつ、自然環境、周辺住民、河川事務所、未来、すべての立場がウィンウィンとなるようなアドバイスをさせていただいております。

早淵川および周辺土手の清掃活動を行い、そこに生息する動植物の生息環境の改善に繋がっています。特に、見た目が綺麗なカワセミは人気があるので、早淵川の川辺に生息するカワセミの情報をSNSで発信しています。同情報を通じて、地域住民の方にカワセミやその他の川の生き物に興味を持っていただくことで、早淵川的环境保全への意識向上に繋がっていると評価します。

○ 平成12年度受賞からの発展内容

- ・当初「早淵川をかなでる会」の発足から27年という長年にわたり環境保全活動を継続してきた。継続は力なりの言葉どおり、環境保全の維持に寄与している。
- ・環境を保全することで、カワセミなどの水鳥など生き物が多くみられるようになった。
- ・近年のSNSによる発信により、若年層や遠方の方の参加が増加し、会の継続に繋がっている。
- ・SDGsの重要性が学校教育に普及し、学校との連携が進んできた。
- ・河川が環境保全に大きな役割を果たすことが認識され、河川管理をはじめとする行政との連携・協働が大きく前進した。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

ここ最近、定期美化清掃の参加者が急激に増加した事もあり、複数グループに分かれての活動展開を検討中です。現在実施中の早渕川親水広場の清掃班に加え、街中の清掃活動班、カワセミをはじめとした様々な水辺の動植物を観察したり、撮影したりする班の合計3つのグループで活動することを検討しています。

また、お子様連れのご家族にも多数ご参加いただいている事もあり、子ども向けの青空文庫の設置、図画・工作の青空教室や早渕川親水広場隣接の都筑大橋下壁面に、生き物や環境問題の学びを深めるための映像投影を検討中です。

【早渕川ファンクラブの大きな夢】

- ・早渕川沿いを緑道化し、都筑区の既存の緑道ネットと繋がり、一緒になること。
- ・早渕川の氾濫の危険性の高いボトルネックとなっている場所を集中的に工事し、氾濫の危険性を低めるために、容積を大幅拡大するとともに、親水公園化し、樹木や花を市民の手でキレイにし、憩いの場にする。（イメージ：谷本川）
- ・氾濫の危険が少ない場所は、壁面を緑化し、住民が自由に植樹やお花を植えられるようにする。緑道を河原に併設し、都筑区の緑道と早渕川緑道を繋げることで、緑道ネットが倍増する。
- ・早渕川を清流に戻す。住民の意識が高くなれば、難なく可能なはず。
- ・公園・広場ごとに微生物利用のエコトイレを設置（EMBC 複合発酵など）。排泄物は微生物により、汚染ではなく、浄化のエネルギーとなる。
- ・要所要所にIoTカメラを設置し、水位を定点観測。また、不法投棄も監視。
- ・早渕川に、Mr. Trash Wheel やシービンのような、ゴミの自動除去装置を設置する。人手によるゴミ拾いだけではすくいきれないゴミを24時間365日、キャッチし続ける仕組みを設置。海に出るゴミを極力ゼロに近づけること。
- ・早渕川全域でゴミ拾いができる近隣の住民が100名以上いる社会。
- ・早渕川で上記の夢が成就できたら、日本全国の、街を流れる川のリファレンスモデルとなること。

○夢の実現に向けて○

まず大前提として、市民、自然、行政、企業など、参加者全員がwin-winとなるような夢でないと成功しないと考えております。その夢を具体的にイメージとして絵や言葉、行動で表し、SNSなどを活用し発信して行けたらと考えております。その結果、共感していただける方が増えて、具現化していくと信じています。

また、メンバー皆様のお力（人力）で具現化できるようなことは、少しずつ実証実験のように試しながら、実現に近づけられればと考えております。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

【例】

- 最も注目してもらいたい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の団体と異なる自分たちの強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦労があったか など

当団体は1994年7月に発足以来、現在に至るまで27年間途切れることなく活動が継続しており、特に最近の傾向として、若年層の参加者が多く、会の役員の世代交代が順調に回っており、長期的な会の存続につながっている。

また、若い世代や子育て世代を含む幅広い年代の方や、多種多様な職業の方に安定的にご参加いただいております。様々な視点から、環境改善に向けて取り組んでいこうとする姿勢が見られ、それぞれの世代がそれぞれの役割を持って組織を作っていこうとする循環が生まれている。特にSNSを活用した情報発信を始めて以降、近隣住民の方だけでなく、環境問題や生き物に興味を持った方など、遠方から足を運んでくださる方も増え、1回の活動で40人以上の方にご参加いただけた。

参加人数の増加に伴い、ゴミの回収量についても2020年度の45ℓ240袋に対し2021年度11月14日現在、45ℓ450袋超と増加している。

その他の努力、苦労、注目していただきたいポイントとして、以下の項目があげられる。

- ・コロナ禍でもしっかりとした感染対策を講じ、一回も途切れることなく活動が継続できていること。
- ・まったく褒美のない、無償のボランティアにも関わらず参加者が増えており、さらに活動の幅も広がっていること。
- ・リーダーの世代交代後、人数、回収できているゴミの量、活動内容が進歩・発展してきていること。
- ・美化清掃を継続実施することで、周辺住民の皆さまから、当団体の活動に注目をいただき、早淵川がキレイになっていると感謝の言葉をいただけていること。
- ・街中にも関わらず、カワセミやハグロトンボや野草など、自然を身近に感じて関われること。
- ・環境問題、今で言うと、海のゴミの問題の根本原因や解決できるようなアドバイスやアイデアを発信し続けていること。
- ・街から川から海と繋がっていることから、早淵川に限らず、街のゴミ拾いや海岸清掃も手がけていること。

早渕川ファンクラブの活動

【定期美化活動の様子】



【早渕川全域を自転車で巡回及びゴミ拾い】





【小中高生ボランティアの受け入れ】



【子育て地蔵まつりでの出展】

川の生き物を捕まえ、一時的に水槽に移して自然観察してもらう



【はあとDEボランティアでの青空教室の実施】



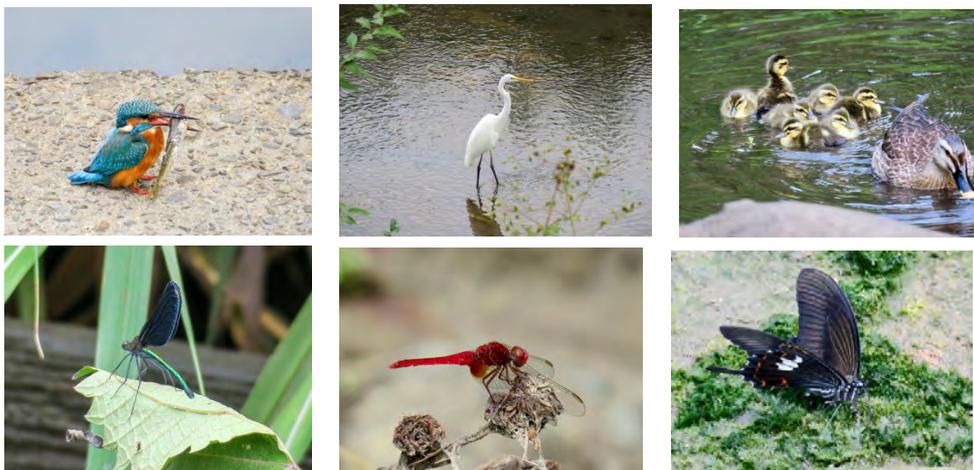
【定期美化活動に参加していただいた子供を対象に、廃材等を活用した、子供向け図画・工
作の実施】



【早瀬川親水広場にビオトープ設置】



【生き物の観察、記録及び、調査】



【戸塚区柏尾川ファンクラブとの交流】



【海岸清掃及び富士山清掃遠征】





【横浜国際プールでのPRブースに出展】



【デザイナーからのロゴデザイン、のぼり旗、及び、チラシ・ポスターの無償提供】



早渕川をかなでるマップ

1994年7月「早渕川をかなでる会」の立ち上げに伴い制作された早渕川のマップ



早渚川ファンクラブ通信 第44号 2019年4月15日

(HARP-FC 通信)

早渚川ファンクラブ発行

(連絡先 ■■■ TEL・FAX ■■■)

挨拶

1年ぶりに通信をお届けします。今年も早渚川親水広場の桜が満開に咲きました。「早渚川をかなでる会」として発足した1994年7月から25年、親水広場がオープンした2007年3月から12年が経過しました。いい街にはいい川がある。都筑には早渚川がある。新しい「令和時代」にも早渚川はいい川に成長し続けて欲しいと思います。今年もよろしくお願ひします。



世話人代表 ■■■

行事予定

●『やらまいか』(早渚川クリーン活動) 【毎月第2日曜日】

5月12日(日)、6月9日(日)、7月14日(日)、8月11日(日)、9月8日(日)、10月13日(日)

時 間	10:00~11:30【雨天中止】 どなたでも参加できます。
集合場所	センター橋(地下鉄「センター南駅」から徒歩5分。「センター南駅」と「センター北駅」の間。歴博通り下)
持 ち 物	汚れてもよい服装。軍手。あればゴミ挟み。ゴミ袋はこちらで用意します。

◎「早渚川ファンクラブ」主催 連絡先 : 080-5524-6091 福富

●『早渚川親水広場の環境美化活動』 【毎月第4日曜日】

4月28日(日)、5月26日(日)、6月23日(日)、7月28日(日)、8月25日(日)、9月22日(日)

時 間	10:00~11:30【雨天中止】 どなたでも参加できます。
集合場所	センター橋(地下鉄「センター南駅」から徒歩5分。「センター南駅」と「センター北駅」の間。歴博通り下)
持 ち 物	汚れてもよい服装。軍手。あればゴミ挟み。ゴミ袋はこちらで用意します。センター橋~都筑大橋の親水広場で環境美化活動(ゴミ拾いと草刈り)をします。

◎「早渚川親水広場愛護会」主催 連絡先 : ■■■

●『早渚川春のウォーキング 2019

『~早渚川を歩き 昔をしのぶ~』 & 『早渚川ファンクラブ総会』

日 時	4月28日(日) 11時30分~12時30分【雨天中止】
集合場所	早渚川親水広場(早渚川センター橋)
持 ち 物	飲み物、歩きやすい服装で。
コース	早渚川親水広場 → 早渚川沿いの散策 → → 上流の鍛冶橋(早渚川・老馬谷ガーデン) → 中川駅(解散)
参加費	無料

◎「早渚川ファンクラブ」主催 連絡先 : ■■■

会員の皆様には当日10時からの早渚川親水広場の環境美化活動から、出来ればご参加をお願いします。

「早渚川ファンクラブ総会」は、13時から開催(会場はシェアリーカフェの予定)

早濑川ファンクラブに参加して

早濑川ファンクラブの新人、すみれが丘の坂口と申します。2月から親水広場周辺の清掃活動を一緒にさせていただいております。感想を記させていただきます：

- ■■■さま、■■■さまを始めとする方々による、25年もの長年に渡る地道な活動のおかげで、早濑川は動植物の多様性や美しさが残っていると感じます。ただ、現状の活動は3名だけと寂しい限りで、風前の灯火です。看板、のぼり旗、たすき、インターネット活用など、現役世代を増やすための宣伝活動の必要性を痛感します。活動にお気づきの方は、どうぞお気軽に声をおかけください。
- ゴミ内訳は、ポイ捨てや不法投棄が半分、風で飛んできた街のゴミが半分くらいでしょうか。ゴミ拾いをすると、ゴミが出るのは誰のせいか、ということを考えさせられますが、これだけのゴミを出してしまっている事実を、菓子、飲料、JTなどメーカー、DIYショップ、コンビニ、ファーストフード、スーパー、弁当屋などの商業、市・県・国の役人や政治家、消費している一般市民に認識してもらい、結局、どのゴミも、作って、売って、消費している人のせいであって、人の手で片づけるしか解決策がないことを自覚させられました。
- ゴミ掃除を何度かすることで、自然の苦しみや痛み、ありがたみが少し理解できるようになったような気がします。自分の家にこれだけのゴミを捨てられたら、とても我慢できませんが、草木はゴミの華をつけて、ゴミが川に流れ出すのを必死に食い止め、土や草花はゴミが見えなくなるよう覆い隠そうとしているように感じます。
- 環境美化に関する知識やご経験をいろいろとやさしく教えていただけます。例えば、東京都は雨水と下水の分離がなく、すべて下水処理場に行くのに対し、横浜は雨水と下水の分離がされていて、ドブ→川→海に流れるなど。
- ゴミ掃除は大変ですが、見る見るキレイになっていくので、やりがいがあり、山登りのような達成感があります。また、体と手足を動かすため、ごはんやお水がおいしくなり、健康になれて、ダイエットにもなります。
- 面倒なゴミ処理プロセスは既に確立していただいているため、とても気軽に活動に参加することができました。といいますのは、専用のゴミ袋が役所から早濑川ファンクラブに支給され、ストックされています。そのゴミ袋が5個以上になったら所定の場所に集め、福富さまから役所に知らせることで、ゴミ収集車が回収してくれます。また、自分は早濑川までの緑道や公園や道中のゴミも拾いたいのので、あらかじめゴミ袋をもらって、それを利用しています。
- 早濑川全域を清流と言える程度にキレイにするためには、現役世代や若手を合わせて100名くらいいてくれればなあと思います。■■■さまや■■■さまには指導役に徹していただき、若手たちが一丸となってゴミ掃除で動き回ってくれる、そのような地域社会となり、さらに早濑川ファンクラブの活動がモデルとなって、全国に波及していくと嬉しい限りです。



クリーンアップ大作戦 2018

2018年9月1日、都筑区と青葉区の境にある鍛冶橋周辺で、「早渚川クリーンアップ大作戦・2018」を開催し、無事終了しました。心配された雨も降らずに、早渚川牢場谷ガーデンプロジェクトとの連携もスムーズに運びました。荏田小学校PTAの方々をはじめ、多くのスタッフの協力に感謝申し上げます。また、河川管理者の神奈川県横浜川崎治水事務所の関係者も大勢参加いただき、またグッズや資料もいただきありがとうございました。

参加人数は、子ども14人、大人30人、合計44人でした。1996年から継続して実施していますが、お陰様でゴミが激減しました。魚や昆虫、鳥や植物も豊富で、「良いまちには良い川がある」に近づきました。早渚川も喜んでいると思います。



新春初日の出&初詣

2019 年元旦、今年もまた元旦の日の出に合わせて「柚木の丘」に行きました。毎年大勢の人が集まります。初日を拜んでから、早渚川の水神様、大榎中川杉山神社(センター北)、茅ヶ崎杉山神社(センター南)に初詣し、早渚川の安全と環境保全を祈りました。



今後の運営について

4月28日に予定している「早渚川ファンクラブ総会」で今後の運営について相談したいと思います。お陰様で、早渚川は自然豊かで、大変きれいな川になりました。早渚川親水広場の桜の下で、ピクニックをしている家族を見ると、環境美化活動を続けてきてよかったと思います。新しい若い会員も増えました。なお、2016年度から会費は集めておりません。

今年度も月に2回の定例環境美化活動を、「できる人が、できる事を、できる時に」というボランティア精神のもとに進めていきたいと思います。「継続は力なり」だと思います。スタッフが高齢化してきましたので、若返りを図りたく会員を募集していますので、よろしくお願いします。

また、ホームページについては、現在メンテナンス体制が十分でないため、今後は貴重な会員の記録をアーカイブスとして残すことを検討することにしたと思います。

(早渚川ファンクラブのホームページは <http://hayabuchi.chips.jp/>です。)

「早渚川ファンクラブ」(旧名称は「早渚川をかなでる会」)が発足したのが、1994年7月24日、今年の7月24日で25年となります。その間、クリーンアップ活動、流域歴史ウォーキング、川や里山さらに街づくりの市民団体とのネットワーク活動を継続して行って来ました。2007年3月17日に早渚川親水広場が、2017年4月1日に早渚川西の拠点「早渚川・老馬谷(ろうばやと)ガーデン(HRG)」が開設したことが大きな出来事でした。

新しい令和時代の幕開けです。これから10年先を考えると、早渚川の東の拠点(新北川橋付近)の整備が実現すれば、早渚川は都筑の宝物である「都筑の緑道＝グリーンマトリックス」が一気に6キロ増えることとなります。網の目のように整備されたオレンジマトリックス(歩行者・自転車専用道路)と相まって、美しい街と豊かな自然が調和した、住みやすい山紫水明の流域が実現できます。早渚川に親しんだ子ども達が大人になる頃を期待したいと思います。

早渚川ファンクラブ 世話人代表